

小樽の文化遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

ロゴマーク デザイン大募集

募集期間
令和2年

11月10日(火)～12月21日(月)

※消印有効

1次選考で選定された作品を、
市民の皆さまの投票で最終決定

採用作品

最優秀賞(1点)

商品券5万円分

優秀賞(1点)

商品券1万円分

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」とは

北海道開拓の玄関口として栄え、今も多くの歴史的建造物が残るまち、小樽。

二つの日本遺産「北前船」・「炭鉄港」とともに、

新たに小樽の文化遺産「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」として、

市内の歴史的文化遺産を市民のみなさんと共有し育てていこうという取組をスタートしました。

そのロゴマークを広く募集します。ぜひご応募ください！

北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽 ～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

かつて小林多喜二は、小樽のまちを北海道の『心臓』と表しました。

明治以降、港と鉄道の「大動脈」により人と物資が押し寄せ、

大手銀行や商社の支店は経済の「血液」・金融の力で北日本随一の商都へと導き、

運河をはじめとしたインフラは「骨格」としてまちを支えました。

昭和後期の運河保存運動を経て、小樽は現在、文化と観光の「心臓」へと生まれ変わり、新たな鼓動を刻んでいます。

※「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の詳しいストーリーはホームページでご覧いただけます

<http://www.otarubunkaisan.jp>

小樽文化遺産ポータル

検索

応募要領は裏面をご覧ください

写真提供/小樽市総合博物館

▼ 応募要領 ▼

【募集期間】

令和2年11月10日(火)～12月21日(月) ※消印有効

【募集要項】

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のロゴマークに適したもののシンボルマーク(図)と「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のイメージまたは意味合いになる文字との組み合わせとし、未発表のオリジナル作品に限ります

【応募資格】

小樽市民もしくは市外の方。年齢は問いません
(中学生以下の方は保護者の同意を得た上でご応募ください)

【応募方法】

- ① 郵送による応募
本応募用紙に必要事項を記入し、郵送にて下記事務局宛お送りください
(応募用紙はホームページからもダウンロードできます)
〒047-0031 小樽市色内1丁目9番6号
株式会社オー・プラン 小樽文化遺産情報発信事務局 宛
- ② 電子データによる応募
Eメール daihyo@o-plan.com 宛にPDFデータ形式または
応募用紙全体の写真画像を添付して送信ください
(お名前・ご住所・電話番号・年齢・ご職業を明記ください)

【選考方法】

小樽市日本遺産推進協議会において1次選考を行い3～5点を選定、
市民投票により最優秀賞1点を決定します(令和3年2月中旬予定)

【賞 金】

最優秀賞1点 商品券5万円分
優秀賞1点 商品券1万円分

【著作権について】

採用作品の著作権、使用权に関する全ての権利は小樽市に帰属します

【その他】

- ・採用作品について著作権等の問題が生じた場合は、採用を取り消すことがあります
- ・応募に係る郵送料などは応募者の負担となります
- ・色数、グラデーション等の制限はありませんが、モノクロにて利用する場合があります
- ・お一人様または1団体2点まで応募できます
- ・応募された作品は返却できません
- ・採用作品は必要に応じて修正を行うことがあります
- ・受付通知及び不採用通知は行いません

▼ 枠内にロゴマークをデザインしてください ▼ ※別紙にてデザインを行った場合は、この用紙を添付してください。

	ロゴマークを制作したときの 想いや意図などをご記入ください。
	【参考】関連ロゴマーク  ※複数応募する場合は本紙をコピーしてご使用下さい。

▼ 下記を明記の上ご応募ください ▼

お名前 フリガナ		保護者氏名(応募者が中学生以下の場合のみご記入ください)
ご住所 〒 —		電話番号 — —
年齢	ご職業	メールアドレス @